

”カヌーの鈴木さん、逝く。” 2003.12.29(sun)

この私にカヌーの魅力を教えて下さった、静岡カヌークラブ会長の鈴木さんが 26 日逝去なされました。突然の訃報に返す言葉もありませんでした。

ただただご冥福をお祈りするばかりです。

”ようやくパソコン復帰しました。” 2003.12.3(wed)

11 月 22 日にパソコンのマザーボードを焼き付けを起こしたらしくパソコンが動かず、しばらく本ホームページの書き換えができず、ご迷惑をお掛けけしました。知人の助けでターミナルを入れ替え、今日から復帰しましたので、宜しくお願い致します。〇〇〇さん、ありがとうございました。この 10 日間、情報化社会にどっぷり浸かっていた自分を再認識しました。

”SBSの報道力ってすごいですね。” 2003.11.11(tue)

毎度の挨拶言葉になってしまいましたが、大変ご無沙汰しております。ほんとマスコミの報道力ってやはりすごいですね。いえいえ、元NHK職員が当選した総選挙の話ではありませんよ。

下の日誌をお読み頂ければお分かり頂けますが、先月 10 月 13 日のSBSテレビにNPO静岡県教育フォーラムが紹介された話です。祝日の午前の番組、皆さん結構見てるんですね。私は当日勉強会で授業中でしたが、番組が終わるとすぐに電話が鳴り、早速の相談のお電話。飲み物を買いに静岡市内のコンビニの立ち寄ってお金を払おうとしていたら、その店員の方から、「先生、見ましたよ。大変なお仕事をなさってるんですね。」って声を掛けられ、びっくり。カヌーをやりて天竜に行きましたら、そこの職員の方からも、「先生、みんなで見ましたよ。」ってね。事前にテレビに出ることを話してたわけでもないのに、驚きました。勿論、ご相談のお電話は毎日あり、ただ今その対応に追われております。それはこの日誌の更新状態からお分かりのことと思います。ただ今回は相談が東は御殿場から西は浜松市まで広範囲に涉っておりまして、ちょっと苦勞しております。

“進学相談会盛大御礼、SBS大緊張収録” 2003.10.5(sun)

またようやく本日誌を書く時間が取れました。まずは 9 月 28 日の志太地区私立高校進学相談会、370 余名の皆さんのご参加を得て、今年も盛大に行われました。担当塾・マイティ一進学院の職員の皆様を始め、ご協力頂きました各学習塾の皆様、本当にありがとうございました。林先生もきっと喜んで天からご覧頂いたと思います。

そして、今度はなんとSBSテレビの取材依頼がありまして、10 月 1 日、たった 3 分のために午前 9 時から昼過ぎまで、静岡オープンスクール本部にてなが〜い収録がありました。私メ、まあ、ホント大緊張しまして自らNGを連発。収録スタッフの皆様には大変ご迷惑をお掛けけしましたm(____)m。と言いますのは、当然のことではありますが、「不登

校の支援と援助」をテーマに極力短く述べるなんて、難しい難しい。なかなかうまく表現できなくてNG連発になったのであります。

”いろいろありました・・・” 2003.9.21(sun)

おはようございます。ホントお久しぶりです。まずは、「TO THE FUTURE」開催に際しまして、皆様の多大なご協力とご支援に改めて感謝申し上げます。

「TO THE FUTURE」のページにも書かせて頂きましたが、お陰様で印刷したチケット125枚を遥かに上回る160名もの方々に楽しんで頂きました。思わぬ余剰金で、当フォーラムの野外活動のためにカヌーを購入させて頂くことになりましたことを、ここでお知らせ致しますと共に、ご参加頂きました皆様にも御礼申し上げます。

出演したTSUYOSHI君の所属するスパルタニック・ロッカーズのホームページを見ますと、このショーに参加頂きました若者がこのショーの感想を書かれております。こうした広がりを目論んでおりました私共にとっても大変嬉しい内容でした。そして、当フォーラムのリーダー&スタッフのみんな、初めての本格的な企画・運営でしたが、よくやりました！大成功だったと思います。勿論、反省点もありましたが、これは次回にしっかり生かして行きましょう！そして、14日。久々のカヌーは気分爽快でした。初参加の亮之君、どうだったかな？

そんな折の翌15日、教育関連事業協同組合、次いで当NPO静岡県教育フォーラム主催の「志太地区私立高校進学相談会」を長年にわたり担当してきましたマイティー進学院塾長・林先生が他界なされました。突然の訃報に返す言葉もありませんでした。参加者数500名を越すに至った同事業は、林先生が大変なご努力で築き上げてきたものであります。今年は今週の28日に予定しております。残された私達の力ではどれほどまでにその事業を維持できるか分かりませんが、先生のご遺志を継いで頑張っていきたいと思っております。先生のご冥福をお祈り致します。

”TO THE FUTURER 静岡新聞に掲載される！” 2003.9.5(sun)

またまたお久しぶりです。朝9時からしゃべり始めて、夜10時にしゃべり終わる毎日。勿論、授業の話です。おまけに、殆ど休み無しの8月も終わり、ようやく普通の生活にと思いきや、今度はNPOの活動と、やはり休む暇もないんですね。ま、自分で決めたことなんで、結構楽しくやっています。

そんな折、今度の日曜日のイベントが昨日9月4日の静岡新聞朝刊に大きく取り上げられました。その反響もものすごく、スタッフ一同気を引き締めて準備しております。お電話も結構頂き、勿論チケットの問い合わせが多い中、藤枝市在住の60歳のご婦人から、若者達によるこのイベントの企画・運営に対して、拍手喝采のお電話を頂き、大変嬉しく思っております。

この藤枝にあって生のブレイクダンスのライブを、しかも若者とそのご両親が親子で楽し

めるようにファミリーレストランを使つての企画、加えてそれを大学生、高校生の若者達がやっていることに、大変なご賛同を頂きました。是非ご覧になって下さいとお誘いしたんですが、今日は皆さんに拍手をしたくてお電話しましたとのことで、ご遠慮なさってしまいました。ありがとうございます。

” T君からすばらしい夏合宿の作文届く。” 2003.8.23(sat)

おはようございます。暑いですね。ようやく夏が来た感じで、寝苦しさが懐かしく思われる今日この頃です。そんな折、今年の夏合宿に参加したS.T.君から、昨年と同様今年もなんと素晴らしい作文を届けてくれました。

一昨年交通事故に遭い、右足に大きな傷跡を残してしまい、昨年その傷のことでみんなから「気持ちが悪い」、「皮膚の色が違う」と言われ、「傷の痛みよりも、心が痛くてたまらなくなった」T君。「自分に自信を無くし」、「友達と遊ぶこともできなくなってしまった」のです。

そんな彼を心配して母親が当フォーラムに相談してきたことから、昨年夏合宿参加を勧め、4回目の手術後で車いす参加となったため、母親と一緒に参加。

「大自然の中で僕は少し、自分に自信を取り戻すことができ」、「みんなから元気をもらい、人を思いやる心を学び」、今年は「自分の足で参加でき」、昨年一緒に参加した友達にも会うことができ、新しい友達もできて随分良かったようですね。

読ませて頂いて何よりも嬉しかったのは、「交通事故でぼくの体のキズあとはきえてなくなればいいけど、心のキズは消えました。大自然とみんなから生きる勇気と元気をもらって、ぼくは心も体も元気いっぱいです。学校へはりきって行っています。楽しくて一日が短く感じます。」と締め括ってあったことです。

最後に、私やリーダー達、そして一緒に参加した友達へのお礼の言葉もしっかりと書いてくれてありました。ありがとう！

” 静高、8強ならず。残念！今度はTO THE FUTUREを宜しく！” 2003.8.21(thu)

でも、よくやりました、静高ナイン&N君。7回表、1死満塁でN君。ちょっと期待しちゃいましたが、やはり、名将・木内監督率いる常総学院の壁は厚かったね。お疲れさん、パチパチパチ。さて、今度は、9月7日に開催されるブレイクダンスショー・「TO THE FUTURE」です。夏期講習も終盤。毎日声をからしてガンバッテます！

” 静高、八頭高に競り勝つ！” 2003.8.18(mon)

でかしました！遂に静高、16強！N君も、5打数2安打の活躍。いや〜いいですねえ。当方個別指導時間中にて、時折入って来る情報にヤキモキ。し・か・し、3回戦の相手は、今大会で引退する名将・木内監督率いる常総学院。でも、ひるむことはない。がんばれ、静高ナイン！

” やったね！N君” 2003.8.13(wed)

ばんざーい！ばんざーい！ばんざーい！やってくれたね、静高野球部。しかも、本大会初のサヨナラ逆転勝ち！思わずテレビの前でガッツしてしまいました。

県大会は 20 打数 2 安打で打撃が奮わなかった”ドカベン” N君（当スクールOB）。本大会の静高の初打点を上げる活躍。2 打席目も見事なタイムリーヒット。よかったねえ。今日の静岡新聞には控えめなコメントが載っているけど、彼の性格ですね。2 回戦も応援するよ～！がんばれ、N君！

・・・夏期講習も中盤にさしかかり、当校の受験生は連日の勉強三昧。私も声をからしての授業の毎日。その一方で、毎日部屋にこもり、太りたくない毎日下剤を飲む少女への対応。う～ん・・・・・・・・

” 9月7日に某レストランに若者がいっぱい集まる企画” 2003.7.23(thu)

を計画中であります。うふふ。まだまだないしょ。今秋の静岡国体の盛り上がりも今ひとつかな。それを後押しできれば、いやいやそんなものじゃあない、もっともつこの藤枝に活気あふれる若者の文化が芽生え始めればと思って密かに計画中であります。お楽しみに。

てな具合です。また久しぶりに書き込みます。決算も目途が立ち、ようやく肩の荷が下りつつあります。さあもう夏。夏合宿に、夏期講習と、またま過酷な日々の始まりです。ウナギをたらふく食って（みたい！）頑張ろう！

” 「アミ 小さな宇宙人」 その3 心に残った言葉—第3～6章” 2003. 6. 27(fri)

ちは～！どうも筆無精ですね。書きたくても、NPOと塾、加えて組合も決算でこのところ毎日、パソコンに向かって数字ばかりを打ち込んでます。間に合いそうにないところに、NPOに興味を持っている若い娘さんが、「前に会社の経理をやったんで、手伝いますよう～。」なんて声を掛けて下さり、この2日間、大助かり。まさに救世主。U. C. パークレー大大学院にこの夏からいく才女なんです。来週も手伝ってくれるとのこと、感謝、感謝。

という訳で、この「アミ 小さな宇宙人」の話、現在読んで下さっております方々もおります（と、メール頂いた方がおります）ので、タイトルのように私が緑線（主観的におもしろいと思った所）を引いた言葉を列記して、皆さんの感想をお聞きしたいと思います。

アミの言葉 第3章 「現実起きていない先のことをあれこれ気を病むのではなく、いま起きていることにあたる方が賢明なことだよ。」「われわれは戦争はしない。なぜなら神を信じているからね。」 [(神は) かたちはなくきみやぼくのような人間ではない。無限の存在であり、純粋な創造のエネルギー、かぎりなく純粋な愛だ・・・]

第4章 「いまは催眠状態でねむっている。人生は少しもすばらしいことがなく、きけ

んなことばかりでいっぱいだと思いきこんでいる。潮騒も耳に入らなければ夜の香りも感じない。歩いていることも、ほんとうに”見る”とはどういうことなのかの認識もない。呼吸することも楽しまない。きみは、いまは催眠状態にいるんだよ。否定的な催眠状態だ。」

「人生やその瞬間が美しいと感じはじめたとしたら、ひとは目ざめはじめているんだ。目ざめているひとは、人生は、すばらしい天国であることを知っていて、瞬間、瞬間を満喫することができる・・・」 「この地球のひとでさえ、悪よりも、善の部分が多く持っている。みな自分のしていることは正しいと思ってやっている。あるひとはまちがいをおかす。でもたいていは過失から出たことで、悪意があつてやったんじゃない。たしかにひとは否定的な催眠状態になると笑顔は消え、しまいにはきけんな状態におちいりかねないというのはほんとうだ。でも、彼らのよい面を引き出すようにしてあげれば、彼らもきみによい返答をしてくるし、彼らのある意面ばかりに目がいくと、こんどはきみに敵意をむきだしにしてくるんだ。」

第6章 「地球人は、あまりにも距離と時間に制約されすぎて生きているからね・・・」

「われわれは脳をふたつもっているんだよ・・・」 「ひとつは頭。これは言うてみれば”コンピューター”で地球人の知っている、ゆいいつのもの。でも胸にもうひとつ別の脳をもっているんだ。こちらのほうが頭より重要で、(中略) われわれにとって、ほんとうのインテリとか賢者とかいうのは、このふたつの脳の調和がとれているひとのことを言う。つまり頭の脳が胸の底の脳に奉仕するというかたちであつて、多くの”インテリ”のようにその反対ではないということだよ」 「知性の発達は、情緒の発達と調和をもつて
進んでいくべきなんだ。」・・・ふ～ん。

”「アミ 小さな宇宙人」その2” 2003.6.20(fri)

こんにちは。私、齋藤孝明大助教授著「三色ボールペンで読む日本語」に出会って以来、3色ボールペンは必携になっております。新聞を読むときも、雑誌を読むときも、3色ボールペンでつい色分けしてしまう。3色で色分けすると、読み返った時はほんと分かり易いですね。

この本、「アミ 小さな宇宙人」も然り。でも、この本には殆ど緑線（主観的におもしろい）ばかり。この「小さな宇宙人」が語る話が実に「哲学」なんですね。例えば、「あるていどの科学の水準に達した、でも、やさしさや善意の欠けた文明は、かならずその科学を自滅するほうに使い出すんだよ」「ある世界の科学の水準が、愛の水準をはるかにうわまわってしまったばあい、その世界は自滅してしまうんだよ・・・」「もしある世界の愛の水準が低けりゃ、それだけその世界は、多くのひとが不幸で、憎しみや暴力や分裂、戦争などが多く、とても自滅の可能性の高い、きわめてきけんな状態にあるんだよ・・・」という具合なんです。どうです？・・・あつ！今から藤枝市適応教室で理科の実験教室がありますので、今日はこの辺で。

” 「アミ 小さな宇宙人」 その 1 ” 2003. 6. 14(sat)

昨日遂に読み切りました。ホント心が洗われる、とてもさわやかな物語でした。そう！ジョン・レノンの「イマジン」の童話版です。童話って言うよりは、イラク戦争やイスラエル紛争と、きな臭いこの地球の人々に対する警告でもあります。勿論、そんな過激な文ではありませんが、この「小さな宇宙人」の言葉には「哲学」があります。実に分かりやすい「哲学」です。もう少しこの本について皆さんと語ってみたいと思います。是非お読み下さい。T君、ありがとうございました。

” 素晴らしい出会い ” 2003. 6. 10(tue)

一昨日、ホント実に気持ちのいい若者達と楽しい時を過ごさせて頂きました。T君に、Rさん、Tさん（だったかな？ごめんなさい、お名前をど忘れして出てこないんです）。ここ静岡でもその世界でとても人気のある若者達。特にT君はブレイクダンスの世界を極めた余りにも有名な若者。でも、そんな彼らが、不登校や多動の子ども達を交えてのカヌー&バーベキュー三昧の1日、実に自然に子ども達と溶け込み、子ども達と一緒に楽しくてくれました。子ども達も普段からは想像できないくらいに大はしゃぎ。本当に楽しかったです。ありがとうございました。T君、頂いた「アミ小さな宇宙人」、早速読ませて頂いています。

” 新聞の効果 ” 2003. 5. 29(thu)

新聞（5.25 付けの記事）って、結構多くの人が見てるんですね。この間、色んな方々に「記事、見ましたよ。」って言われたり、電話が来たり、メールを貰ったり。昨日も、5年ほど前の交流分析講座を受講して頂いた浜松市内の方からお電話を頂きました。今日は、2年前お子さんの不登校のことで電話相談を受けたお母さんから、あの記事で再びお電話を頂き、夕方本人と一緒に面談致しました。（2年前の電話相談記録ファイルもきちんと残っておりました。）勿論、他にも不登校の相談も受けました。

本音を言いますと、髭面の顔だけに、写真が載ることだけは抵抗があるんですね。そう言えば、1年前に静岡リビングに写真が掲載された時にも二人の娘に、「まったくもう、写真だけは載せないでよね。」なんてクギを刺されていたことを思い出しちゃいました。ま、でも、こうした報道で少しでも多くの子ども達の支援ができ、彼らの心理的負担が解消できればと思っております。遠慮なくお問い合わせ下さい。

” また新聞に出ちゃいました。 ” 2003. 5. 27(tue)

一昨日は静岡新聞朝刊を汚しまして（連載記事「トークバトル」に 1/4 紙面の私のインタビュー記事が掲載されたんです）、大変失礼致しました。対面にきれいな方と並ばせて頂きまして大変恐縮致しました。計約 4 時間余にわたる取材からあのようにまとめ上げた記者さんもすごいと思いました。

テーマが5月1日付け日本教育新聞第25面から第38面に涉って掲載された、文部科学省・不登校問題に関する調査研究協力者会議の「今後の不登校への対応の在り方について」の報告書。初回の取材は写真撮影が主で、その報告者をその日に手に入れたため、約1時間半現在の私達の活動についてお話させて頂きました。あの写真は記者にその話をしていく時に撮って頂いたもの。確か3本位撮られたんじゃないかと思います。こんな髭面ばかりか考えると、これまた大変申し訳なく感じました。一面が総ガラス張りで、静岡市内が見渡せる静岡新聞社の応接室。2回目も同じ部屋。とても気持ちよくお話しさせて頂きました。ただ前述の通りのかなりの長文。2回目の取材の前、正直寝不足も祟って何回か眠くなるのを押さえてなんとか読み上げ、コメントを考える。能力のなさを痛感しました次第です。意をすべて話し尽くせなかった分、機会を見てこの日誌でお話させて頂きます。

”個性” 2003.5.22(thu)

オーストラリアと一緒にいったS.D.君(中2)から、11日に行われた同合宿の実施報告会の時に、1本のビデオを頂いた。その日合宿中のビデオを放映するためビデオデッキが用意してあったので、早速見させてもらったが、画像が出てこなく、「ウン?ダビングに失敗しちゃったのかな?」なんて勝手に解釈してそのままにしておいた。その夜、でももう一度と思ってデッキに入れたら、びっくり。続きに、彼が撮ったデジカメ写真を編集し、BGMを入れて、ホント素晴らしい「オーストラリア合宿記」が収録されていた。自身のホームページも持つ彼。パソコンは自在に使いこなすんですね。あっぱれでした。この夏の合宿は、その記録を同じようにビデオにしてもらおうかな。ありがとう!

”カヌーの効用” 2003.5.20(tue)

おはようございます。新年度に入り静岡オープンスクールの方もぼつりぼつり入塾者があり、相変わらずホント小さい塾のままですが、頑張っております。

一方、NPO静岡県教育フォーラムでは、土日には活動がありますので、週末は日誌も疎かになってしまって申し訳ありません。この度平成14年度の共同募金から初心者用カヌー2艇(1人乗り用と3人乗り用)を購入して頂き、時も春うらら、このところは祝日、日曜日は殆どカヌーをやり、天竜市・相津マリーナに出かけております。相津マリーナもこのところ度々船明ダムの放水があり、水量が少なかったり、多かったり。なかなか変化のあるカヌーを楽しんでおります。今まで対応しておりました8名の生徒8名のうち、1人を残して(遠方ということと農繁期ということで暫くお休み)先月の30日をもって進学、あるいは授業復帰を果たしました。

この5月より新たに3人の不登校生が入ってきました。早速ながらその内2人をカヌーに連れていって頂きましたが、結構楽しんでくれました。といいますか、ちょっと楽しすぎで、元来が運動不足ですので、疲れが出て、翌日は当フォーラムも休んでしまいましたが、カヌーってやはり良いですね。自分一人でき、すぐに覚えられ、カヌーをコントロール

ルできるようになると、自然の中に解けこんで水上の旅を楽しめるんですね。また、行きの車ではさすがにみんな殆ど初対面で会話は少ないんですが、帰りはすっかり打ち解けていて、みんなと話が弾み、楽しく帰って来るんですね。これがこうした活動の効用です。

”ご無沙汰しております。暫くお暇致します。” 2003. 3. 25 (tue)

いよいよ1週間後の4月1日から5日まで、33名の小中高生と3名の一般参加者、及び11名のリーダースタッフと4名の本部役員、計51名で、藤枝市の姉妹都市、オーストラリア・ペンリス市に行きまして参ります。その準備のため、先月22日から本日誌をお休みさせて頂いております。今回はこれまで26年間に涉って様々な活動を行って参りました私にとりましても、初めても大事業となります。学習塾、予備校の方も新学期を控え、多忙を極めておりますことから、本日誌を掲載しておりながら誠に申し訳ありませんが、本事業終了まで引き続き本日誌はお休みさせて頂きます。宜しくお願い致します。

”ほぼ4年振りの学校” 2003.2.21(fri)

小学校3年生の頃から学校に行けなくなってしまいました小6の女の子が10日程前、ほぼ”4年振りの学校”を体験してきました。

彼女の学校の教頭先生が偶然にも私の高校の時の同級生。その気安さからその2日前の午前の当フォーラムでの指導中、彼女と学校の話をしてまして急に行くことになったんです。午後2時前彼女の家で待ち合わせ、私の車に乗ってすぐ近くの小学校に行き、30分ほど教頭先生や担任の先生とお話しておりましたら、前日彼女からの電話で彼女の登校を知った仲のいい友達が面談している会議室の入り口の所に来たんです。

「ちょっと一緒に学校巡りでもしたら。」との教頭先生からの提案に、最初はちょっと渋った彼女は、その友達の誘いもあって一緒に”ほぼ4年振りの学校巡り”することになりました。

私達を会議室に残し学校巡りをして約30分、なかなか戻って来ず。担任の先生が学校内を探しに行ったら、他の友達ともで出会ったようで話が弾み、スポ少で卓球をやっていたので、体育館に卓球も見に行きたいとの話になったようですね。「でも、山下先生も待つてるから。」と、先生に促され、会議室に戻ってきました。

「先生、私、まだ学校にいたいので、帰りは友達と一緒に帰るから。」と言われ、4時過ぎ私は学校を後にして運営する予備校に戻りました。

結局、彼女は5時過ぎまで、なんと3時間余も”学校”を体験してきたようです。その夜10時頃、お母さんから驚き&大喜びのお電話を頂きました。本人は家に帰ってからはその日会った友達達と電話三昧。本当に楽しかったようで、夕食時はその話で持ちきりだったようです。

これまで一生懸命彼女の対応を手伝ってくれたスタッフのMちゃん、Fちゃん、本当にありがとうね。長く不登校になっていたものの、様々な活動を通じて新たな人間関係がで

き、それが元で先日のような体験ができた彼女は、もう 2,3 ヶ月の指導で不登校解消に向かうものと思います。もしかして数週間の内に簡単に復帰するかもしれません。

” 最高のバレンタインチョコ” 2003.2.14(fri)

午後 11 時過ぎ、ただ今静岡教室から帰ってきました。今日は 2 月 14 日、バレンタインデー。今日は最高のバレンタインチョコを頂きました。嬉しかったですね。

勿論それは、この歳なんですから、あの甘〜いチョコレートではないですよ（しかも私はチョコかちょこっと苦手）。一昨日の 12 日は公立高校前期試験発表日。昼過ぎから藤枝教室の中学 3 年生で前期試験を受けた生徒からは電話があり、合格の喜びに沸き上がっていたものの、静岡教室の中学 3 年生からは夜になっても誰一人として電話連絡無し。「最低でも 3 倍、中には 6 倍の競争率じゃあ、落ちても当然。勿論、後期試験は大丈夫だから。」なんて自分で慰め、「さあ、今日からもう一度気を引き締めて頑張ろう！と渴を入れなくてはね、などと考えて生徒を待っておりましたら、その 6 倍の競争率の高校を受けた N 君が授業開始 1 時間も早く来て、「先生、ありがとうございます。合格しました。」と。エッ！ご・う・か・く？！エッー！合格した！ホント！本当だよ。びっくりしました。しかも、うちの塾の生徒達は全員合格。中には、H 中学からはただ一人合格が 2 人もおり、万々歳！最高のバレンタインチョコでした。そんなら連絡くれよ〜！・・・ちなみに我が息子からもようやく大学合格のチョコを頂きました。

” 知の喜び一菊川町児童館主催「なんでも実験特別教室」” 2003.2.13(thu)

前回の日誌でちょっと触れました、菊川町児童館主催「なんでも実験教室」(2/8 実施)について、いつもこのホームページをお読み頂いておりますある方からご賛同のメールを頂きました。ありがとうございます。

今年 48 歳になる私は、日本があ的高度成長を成し遂げた時期に生まれ育った世代。その時代の日本の科学技術の進歩は、世界がそれこそ驚異に感ずるほどのものでした。それゆえに当時から理系、とりわけ工学部の学生の殆どが大学院に進学。それに比例して、日本人学者の研究も世界で認められ、ノーベル物理学賞、化学賞に日本人が登場し初めたんですね。ご存じの通り、昨年一度に 2 人の日本人にノーベル賞が与えられ、世はその話題に沸き上がりました。

ところが、皮肉にも日本の理系科目水準が高くなり過ぎたのか、10 数年前から高校生の理系離れが始まりました。学歴社会の御曹司として成長し始めた学習塾業界も、目先の結果主義に囚われ、安易に受験テクニックの指導に走り、知の喜びから本来の学習が始まることに目をつぶってきたこともその一因であると思います。

21 年前今の学習塾を創立した私は、非力ながらもこうした流れに抵抗し、子ども達の知的好奇心をくすぐる授業を目指して水道方式、応個学習システム、オープンスクール方式を勉強・採用したり、野外体験授業&キャンプ、数楽クラブ、理科実験教室と、教室や授

業の枠を飛び越えて行ってきました。やはりそうした時の子ども達の目の輝き、それはまさしく教師冥利に尽きるものです。

本ホームページのNPO静岡県教育フォーラムのページ（注 現在は掲載してません2020）をご覧ください。80個の卵の上に一人の子どもが立ったとき、見ていた子どもはみんなその机に集まってきて、卵が割れてないを見て思わず、「ワー！」。アーチ型の強さの証明。「んだから、橋はアーチ型をしてるんだ。」、そんなふうみんな思ってくれたかな。お土産に持っていった「ぷよぷよ卵」(酢に2日ばかりつけておくと殻が溶けBR>てできます)。「家で水につけてじっと観察してご覧。」と言いましたので、おそらくみんな、その卵がダチョウの卵位に大きくなったのを見て、びっくりしたでしょう。「ねえ、ねえ、どうして？」と聞く子どもに、一緒に参加したお母さん、お父さん達にはその原理（均一の濃さになるうとする自然の原理＝浸透圧）を説明しましたので、そのわけを子どもにしっかりと説明してくれたと思います。そうして親子で科学を学習する。いいことですね。フィルムケースのドライアイスロケットもみんな驚いてくれました。大根おろしやレバーがオキシドールで白い泡だらけになった時も、みんな目を丸くしてました。科学の目がこうしたことから育ってくれば・・・。ホント楽しい実験でした。菊川町児童館様には、講師にお招き頂き重ねて御礼申し上げます。

”いよいよ新学期。頑張って生徒募集をしなくては。” 2003.2.9(sun)

この大変な不況時。どこの学習塾も同じだと思いますが、こうした時期の生徒募集はホント大変です。我々は”選ばれる”先生稼業。実力主義、学力重視入試と
叫ばれた今回の公立入試改革。中高一貫高校入試、私立高校第一次入試、公立校前期試験と見ていきますと、改革初年度、入試改革の意欲を感じず入試問題（課題）もあれば、戸惑いが見え隠れする問題（課題）も。でも、流れはやはり新学力観に基づく学力、知力を目指しているように思います。そんな中での昨日（8日）の菊川児童館主催の「なんでも実験教室」。子ども達の興味津々な目と驚きの顔。我々の目指す方向に確信を得ました。体質で汗かきかきの授業でしたが、ホント大変楽しい授業でした。菊川児童館様、お招き頂き、ありがとうございました。

”Nちゃん、春ゆめのオーストラリア合宿、楽しみだね。あっ！Yちゃんも。そして、もうひとりのNちゃん。” 2003.2.5(wed)

こんにちは、Nちゃん。山下です。読んでくれてますか？ホント楽しみだね、オーストラリア合宿。先生、この計画が決まった時、すぐにNちゃんも含めて何人かの子ども達に声を掛けたかったんですが、助成金補助事業の計画であるため、公開一斉募集が原則。それ故に、紹介が新聞発表後になり、毎日朝から申し込みや問い合わせの電話が相次ぐ中、Nちゃんからの返事がなくヤキモキしたけど、遂に参加を決断してくれ、正直嬉しかった。リーダーのYちゃんも喜んでたよ。あのコアラ（^^）のオーストラリア>だよ！あのオペ

ラハウスをこの目で見れるんだよね。そう、大自然のあのブルーマウンテンにも……オーストラリアの生徒達との交流会もあるんだよ。英語、勉強しようね。今参加するリーダー達も、今月から交換メールは英語でと英会話の勉強を始めてます。そうそう、Nちゃんも英語でメール下さい。練習だよ。先生も今朝、リーダー達への英文メールで4ヶ所もつづりを間違えちゃいました。その1つが、boxをbaxと書きちゃったんだよ。もう恥ずかしくて、訂正メールできず。ついアメリカ英語の発音通りに書きちゃったんだ。それでも、先生、大学入試英語を解説してるんだよ。大丈夫だよ、英会話は慣れたよ（って思う）。でも、よかったよ、週に1回でも先生の所に来て勉強し始めたから。また、家でも少しずつやろうね。

Yちゃ〜ん！夜は大丈夫だよ〜！やっぱ行こうよ。もうひとりのNちゃんもね。

”改正入試制度初年度、苦悩する静岡県内の高校入試” 2003.1.26(sun)

先日22日、県内の私立高校の平成15年度入試一次選抜願書受付が締め切れ、翌23日に志願者数が新聞発表されました。大まかながら約8050名の定員に対して、8441名が志願、約1.0485倍であります。一次選抜と言え、勿論ご存じの通り単願者です。即ち、今回の志願者達は公立高校入試は受験せず、今回の入試だけに挑むわけで、一次選抜募集定員を額面通りに受け取れば、この一次選抜で県内で約400名の中学生がこの春からの行き場を失うこととなります。

これはあくまでも平均化した上での数字でありますし、仮に合格しなくても、現実とは別として制度上はこの後の私立二次入試、公立高校前後期入試と3回の受験機会はあります。しかし、これまでの県内の入試の対応から考えますと、勿論のこと実際の募集定員はもっと柔軟に対応するものと思われまますので、その人数はもっと少なくなります。

募集定員も厳格な人数ではなく、パーセントで表してあります。それも、今回生徒募集する私立高校は昨年と比べて、静岡英和・静岡聖光の各高校が加わり県内計40校ですので、単純に考えまして各校募集定員を5名増やせば、その数は200名となり、8名増やせば320名に、そんな具合ですので、受験生にとってそうビクつく数字ではありません。かと言って、勿論のこと全員合格とはいきませんので、受験生は頑張って勉強して下さいね。全体を見ればこうですが、個々の高校別に数字を眺めると、様々です。

戦前の噂に違わず人気を盛り返した1.86倍の城南静岡、1.812倍の藤枝順心、……数字を追っていきますと、募集定員を割る高校もありますが、それはあくまで補充募集。ホント私立高校の皆さんの苦労が伺われます。ところが、昨年末以来耳にして驚くのが、公立高校前期試験の予想応募人数です。勿論のことそれは”噂”ですので、ここで具体的な数字は挙げられませんが、大変な倍率になりそうです。やはり改正入試制度初年度、各中学校の3年生担当の先生方の苦悩もはっきりと現れております。果たして実際にどのような数字になるのでしょうか？そして、新制度の15の春は？

”遊びの実践講習会に参加して。” 2003.1.20(mon)

すっかり日誌の更新を忘れておりました。と言うよりは、藤枝東高同窓会から、静岡オープンスクール&東進OB会、豪州・ペンリス市春ゆめの大自然交流合宿事前説明会に、遊びの実践講習会。相変わらずの忙しさでなかなか落ち着いて日誌を書けず。でも、昨日は夕方ホント久しぶりにのんびりと、程良い疲れでウトウトしながら、職業柄つつい新聞のセンター試験問題を眺めておりました。決して解いたんじゃないありません。今朝の静岡新聞に写真入りで紹介されておりましたが、この18,19日は浜名湖ユースホテルで、1泊2日の「遊びの実践講習」(県ボランティア協会主催)を受けて参りました。教え子の40名程の大学受験生達が、この一年の勉強の成果を賭けセンター試験に悪戦苦闘している間、私も色々な方々と夜を徹して勉強してきました(?)。遊びの実践講習もさることながら、静岡県内で様々な形でご活躍の方々との交流。これは大変な経験でした。こうしたことからまた新たなネットワークができていくんですね。5月の野草の天ぷら、いや、その前の4月の再会(手打ちそば道場)が楽しみです。

”本日は藤枝東高校同窓会&静岡オープンスクール・東進OB会” 2003.1.3(wed)

この20年余塾屋をやっておりますと、毎年のことながら正月はのんびりできるものではありません。しかし、やはりこの時期は仕事に、勉学に藤枝・静岡両市を離れております友人や教え子達は、故郷に戻ってきては、時代の流れなんですね、年賀状よりはメールで連絡してくれるんですね。本日は、なんと卒業以来初めての藤枝東高校の同窓会と、こちらは毎年の行事となってきました静岡オープンスクール・東進OB会。昨夜から楽しみでなかなか寝付かれず(って言いますか、本当は深夜2時半間違い電話ですっかり目が覚めてしまったんです)、その後ちょっと寝たんですが、この冬休み、いつもの通り携帯電話の目覚ましで6時半に目が覚めてしまい、こうして日誌を書いております次第です。同級会は何回もあり、それこそクラスの半数以上はその後の様子を知ってるんですが、同窓の殆どはホント30年振り。どんな父親や母親になってるか楽しみです。OB会はこれも楽しみ。勿論その何人かはNPO静岡県教育フォーラムのリーダーとしてお手伝い頂いておりますが、やはり教え子達の大学情報は貴重な情報源であり、私の子ども達と同じ世代ゆえに彼らの親のような気持ち、その後の成長も併せて楽しみなんです。どんなにたくましく、あるいは、きれいになっているだろうか。

”新年明けましておめでとうございます” 2003.1.1(wed)

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎え、早速この本部教室にある「2003教科書によくできることわざカレンダー」(旺文社版)をめくりました。「1年の計は元旦にあり一ものごとははじめが大切で、まずは計画をきちんと立ててから、とりかかりなさい、ということ。」

学生時代に興し、26歳の時再び始めた学習塾「静岡オープンスクール」は、おかげさま

で昨年 10 月創立 20 周年を迎え、新学習指導要領実施と静岡県高校入試改革と相まって、今年いよいよ新たな段階に入ってきました。

そして、それこそ様々な方々のご支援を頂き発足し、平成 13 年 1 月、静岡県の認証を受けました「特定非営利活動法人 静岡県教育フォーラム」も 3 年目を迎え、今春行われま
す「豪州・ペンリス市 春ゆめの大自然交流合宿」は藤枝市・ペンリス市両国際友好協会との共催と、初めて公的機関・団体との本格的な協働事業に着手、いよいよ発展の段階を迎えました。

また、平成 9 年 8 月静岡県内の 9 つの学習塾が発起人となり発足した「教育関連事業協同組合」も昨年の 7 月、理事長就任を要請され、身分不相応ながらお受けし、こちらも県内の組合員・学習塾の発展のため、その方向性を考えなくてはならない立場になってきました。

元来が計画的にことを進めるのが苦手な人間だけに、このことわざは私にとって大変重い意味をもったものとなってしまいました。そうなんですね。ここはやはりちょっと立ち止まって、それぞれの今後の方向性をじっくり考えるべきなんですね。